

赤十字国際委員会 (ICRC) の概要

ICRCとは？

1863年に創設された、世界で最古の国際人道支援組織。本部はスイスのジュネーブで、**公平・中立・独立**を原則に主に紛争地で活動を展開、戦時下に適用される**国際人道法の守護者**とみなされる。武力紛争およびその他暴力の伴う状況下において犠牲となっている人々に寄り添い、命と尊厳を守ることを使命とする。現在約100カ国で、20,000人のスタッフが活動。。邦人職員は、2022年末の時点で37名。2010年から10年間で約5倍に増加、世界各地で活躍している

ICRCの多角的な活動

- ①保護：捕虜・被拘束者の訪問、離散した家族の再会支援、行方不明者の追跡調査など
- ②支援：食料、安全な飲料水、衛生サービスの提供、生活の自立支援、保健医療サービスの提供など
- ③予防：国際人道法の普及
- ④連携：国際赤十字・赤新月運動内の連携



ICRCと産学連携

- 2018年に早稲田大学と覚書を締結。人道支援における革新的技術の開発を含む共同事業を立ち上げ、連携することに合意。現在、地雷探知の分野において、ICRCの武器汚染対策ユニットと早稲田大学理工学院の専門家が、ドローンを駆使した空中からの熱画像検出システムの活用にかかる研究を実施中。
- 2021年にNECと連携協定を締結。
- 複雑な環境下で活動する企業が直面するセキュリティや人権課題への対応を支援する取り組みの実施（例：『複雑な環境下におけるセキュリティと人権の課題への取り組み』発行）。



事業規模TOP10 (2022年)

- 1 ウクライナ
- 2 アフガニスタン
- 3 シリア
- 4 イエメン
- 5 ソマリア
- 6 南スーダン
- 7 ナイジェリア
- 8 イラク
- 9 コンゴ民主共和国
- 10 エチオピア

ICRCと日本

歴史：

1942年～1949年まで、第2次世界大戦中の日本で活動。原爆犠牲者への緊急援助も実施。2009年に駐日事務所を開設。

活動：

- ①省庁との関係強化
- ②日本政府への働きかけ
(拠出額 (スイスフラン)：2020年 25M、2021年 51M、2022年 51M)、ドナー・サポート・グループのメンバー
- ③国際人道法の普及
- ④日本赤十字社との連携
- ⑤広報活動

